

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()	
	1 目	二次予防事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()	
小 事 業	「食」の自立支援事業費							
事 業 名	「食」の自立支援事業							
目的及び事業内容	65歳以上の在宅一人暮らし高齢者等で、日常の食生活において支援が必要な方に対し、配食サービスを提供し、併せて利用者の安否確認を行う。 1食（700円）につき、400円を利用者が負担し、300円を市が負担する。							
取 組 実 績	1 在宅の独居又は高齢者のみの世帯に対し、食事を配達し、併せて利用者の安否確認を行った。 2 事業利用者の地域的偏りを是正するため、登録事業者の年度更新に併せ、新規登録事業者の募集を行った。							
成 果	在宅の独居又は高齢者のみの世帯に対し、食事を配達し、併せて利用者の安否確認を行ったことにより、高齢者自身が望む自宅での生活を支援することができた。利用者からは、配達時の担当者との交流で日々の生活に活気が生まれた等の意見をいただいた。							
	主な指標項目	H21	H22	H23				
	利用実人員	217人	224人	106人				
	利用延べ食数	28,033食	30,510食	14,592食				
	委託事業者数	7事業者	8事業者	3事業者				
成果に係る評価	事業利用者の地域的偏りを是正するため、新規登録事業者の募集を行ったが、震災の影響により新規の登録事業者は無く、登録の更新を行わなかった事業者もあったため、3事業者のみの登録となり、利用者数も前年度の半数程度であった。 高齢者の自立した生活を支援するため、引き続き事業を展開していくとともに、事業利用者の地域的偏りの是正に努める。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入		
	6,649,000	4,393,484	2,782,485		1,610,999			

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																	
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																	
	1 目	二次予防事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()																	
小 事 業	訪問指導員費																							
事 業 名	訪問型介護予防事業																							
目的及び事業内容	療養上の保健指導が必要と認められる者及びその家族に対し、必要な指導を行うことにより、心身機能の低下防止と健康の保持増進を図る。																							
取 組 実 績	<p>1 訪問指導員の派遣</p> <p>(1) 地域包括支援センター等が作成した介護予防プラン等に基づき、訪問により以下の指導等を行った。</p> <p>ア 介護を要する状態になることの予防</p> <p>イ 要介護状態の軽減・悪化防止</p> <p>ウ 家庭における療養方法</p> <p>エ 家庭における機能訓練の方法、住宅改修及び福祉用具の使用の方法</p> <p>オ 生活習慣病の予防</p> <p>カ 関係諸制度の活用方法</p>																							
成 果	<p>訪問による個別相談・指導により、心身機能の低下防止及び健康の保持増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問実人員</td> <td>149人</td> <td>157人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>訪問延べ回数</td> <td>2,269回</td> <td>2,173回</td> <td>1,533回</td> </tr> <tr> <td>訪問指導員数</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>								主な指標項目	H21	H22	H23	訪問実人員	149人	157人	98人	訪問延べ回数	2,269回	2,173回	1,533回	訪問指導員数	6人	6人	5人
主な指標項目	H21	H22	H23																					
訪問実人員	149人	157人	98人																					
訪問延べ回数	2,269回	2,173回	1,533回																					
訪問指導員数	6人	6人	5人																					
成果に係る評価	<p>閉じこもり、認知症、うつ等の恐れのある者、又はこれらの状態にある高齢者を対象に、訪問指導員が訪問することにより必要な相談指導を実施した。</p> <p>「訪問指導」としては、対象者が65歳未満（健康推進課所属訪問指導員対応）及び65歳以上（本事業対応）に分けられ、本事業については制度上、地域包括支援センターが作成する「介護予防プラン」に基づき実施している。</p>																							
予算の執行状況	(単位：円)																							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																		
14,973,000	13,634,800	8,635,203		4,999,597																				

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()	
	2 目	介護予防一般高齢者施策事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()	
小 事 業	ミニデイサービス支援事業費							
事 業 名	ミニデイサービス支援事業							
目的及び事業内容	高齢者に対し、地域の集会所・家屋等を利用しながら、小規模にデイサービス事業等の福祉サービスを提供する個人又は団体に対し、補助金を交付する。 補助金額は、利用者1人当たり1回の利用につき、1,180円とする。							
取 組 実 績	平成23年度交付対象団体：7団体 延利用者数：3,363人 平成23年度補助金交付額：3,968,340円							
成 果	補助金を交付することにより、サービス提供事業者が円滑に事業運営することが可能となり、サービス利用者についてもミニデイサービスを利用することで心身機能維持や介護予防の意識向上が図られた。							
成果に係る評価	震災により被災した団体もあり、事業開始時期が遅れ、例年より延利用者数、補助金交付額が減少した。 震災後の生活環境の変化により、社会的孤立感の解消、心身機能の維持、向上、地域のコミュニケーション、支えあいが必要となっており、地域での身近で小規模なデイサービスは、ニーズが高く、その役割は重要である。							
予算の執行状況	(単位：円)							
	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入		
5,084,000	3,969,020	2,513,663		1,455,357				

予算科目	4 款	地域支援事業	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()													
	2 目	一次予防事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()													
小 事 業		遊びリレーション事業費																		
事 業 名		遊びリレーション事業																		
目的及び事業内容		<p>家に閉じこもりがちな高齢者などが、身近に集まれる場を市民自らが設けることができるよう支援することで、高齢者の交流の場や機会を増やし閉じこもりを予防することを目的とする。</p> <p>地域内の民生委員や町内会長、保健推進員等がボランティアとして、高齢者を対象に遊びリレーション事業として交流の場を定期的で開催し、手遊び、季節の行事やゲーム等、また保健師等による健康講話など、楽しみながら交流できる場を提供している。</p>																		
取 組 実 績		<p>1 リーダー研修会 実施せず</p> <p>2 リーダー交流会 実施せず</p> <p>※震災の影響で、ボランティア等も被災し、研修会・交流会は実施できなかった。</p> <p>3 遊びリレーショングループ事業の実施 震災前は29グループが活動していたが、震災後は集会所等の被災、高齢者本人及び主体となるボランティアの被災により15グループに減り、各グループ4～10回実施した。</p>																		
成 果		<p>震災後、集まれる場所がなくなり、高齢者から再開希望の声があった地域もあり、被災が少なかった地域では年度途中から再開された。被災し孤立していた高齢者にとって遊びリレーショングループでの集まりが、不安解消や交流の場となり、孤立防止にも役立った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">主な指標項目</th> <th style="width: 20%;">H21</th> <th style="width: 20%;">H22</th> <th style="width: 20%;">H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>204回</td> <td>196回</td> <td>95回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>3,451人</td> <td>3,331人</td> <td>1,572人</td> </tr> </tbody> </table>							主な指標項目	H21	H22	H23	開催回数	204回	196回	95回	参加延べ人数	3,451人	3,331人	1,572人
主な指標項目	H21	H22	H23																	
開催回数	204回	196回	95回																	
参加延べ人数	3,451人	3,331人	1,572人																	
成果に係る評価		<p>震災の影響で平成22年度に実施していたグループも継続的な活動が困難となり、29グループから15グループに減った。仮設住宅や在宅でも集まる場所がないため、交流ができず閉じこもりで孤立している高齢者が増えている。今後、地域のボランティアの育成及び地域包括支援センターや関係者と連携しながら、仮設住宅や在宅で高齢者が交流できる場を増やすために、遊びリレーショングループが開設できるよう支援が必要である。</p>																		
(単位：円)																				
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																
				国(県)支出金	地方債	その他	事業収入													
		238,000	60,795	38,503		22,292														

予算科目	4 款	地域支援事業	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																									
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																									
	2 目	一次予防事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()																									
小 事 業		高齢者のための健康づくり事業費																														
事 業 名		高齢者のための健康づくり事業																														
目的及び事業内容		健康寿命を長く保つために、元気な高齢者の増加をめざし、生活習慣病の予防、介護を要する状態になることの予防のために、高齢者の健康意識の向上を図ることを目的とする。 各地域で保健師や栄養士が出向き、認知症予防、運動や食生活等への健康に対する意識の向上や主体的かつ継続的に健康づくりに取り組めるよう、高齢者のための健康づくり教室及び相談会を開催している。																														
取 組 実 績		<p>1 高齢者のための健康づくり教室の実施 各地区、仮設集会所等で高齢者を対象に、保健師・栄養士等による健康教室、運動教室を実施した。</p> <p>2 高齢者のための健康相談の実施 各地区、仮設集会所等で高齢者を対象に、保健師・栄養士等による健康相談を実施した。</p>																														
成 果		<p>各地区で被災者の健康支援、転倒予防や脳卒中予防、運動及び食生活等について健康教育、健康相談が行われ、要介護状態等の予防が行われた。</p> <p>健康教育</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>368回</td> <td>234回</td> <td>192回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>7,195人</td> <td>4,231人</td> <td>1,848人</td> </tr> </tbody> </table> <p>健康相談</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>178回</td> <td>155回</td> <td>121回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>1,516人</td> <td>1,361人</td> <td>963人</td> </tr> </tbody> </table>							区 分	H21	H22	H23	開催回数	368回	234回	192回	参加延べ人数	7,195人	4,231人	1,848人	区 分	H21	H22	H23	開催回数	178回	155回	121回	参加延べ人数	1,516人	1,361人	963人
区 分	H21	H22	H23																													
開催回数	368回	234回	192回																													
参加延べ人数	7,195人	4,231人	1,848人																													
区 分	H21	H22	H23																													
開催回数	178回	155回	121回																													
参加延べ人数	1,516人	1,361人	963人																													
成果に係る評価		<p>避難所や仮設住宅での被災者の健康支援を主に行ったために、通常の事業が実施できず、回数・延人数とも減少した。また、震災後の健康相談会で高齢者に高血圧の方や、避難所や仮設住宅等での生活で活動量が低下し、生活不活発による要介護状態の方も増えている。</p> <p>今後は地域包括支援センターや関係機関と連携しながら、各仮設集会所や地域の集会所等で高齢者を対象に健康相談会や健康教室等を開催し、健康づくりへの意識を高めるとともに、さらに生活習慣病重症化予防及び介護予防の強化が必要である。</p>																														
(単位：円)																																
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
				国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																									
		173,000	66,243	41,952		24,291																										

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	1 項	介護予防事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()													
	2 目	一次予防事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()													
小 事 業	介護予防フォローアップ事業費																			
事 業 名	介護予防フォローアップ事業																			
目的及び事業内容	65歳以上の高齢者（一次予防事業対象者）に対し、地域包括支援センター及び在宅介護支援センターが管轄する地域において介護予防の啓発、普及等を図るため地域介護予防教室を実施し、参加者自らが自分の生活を振り返る機会を作り、自分にあった介護予防方法を生活に取り入れ、生活機能の低下防止につなげることを目的とする。																			
取 組 実 績	1 地域介護予防教室の実施 15センターが主催し、44会場で実施した。																			
成 果	<p>参加者自らが、普段から自分にあった介護予防法を実施し、生活機能低下の防止、要介護状態とならないよう意識付けすることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>161回</td> <td>228回</td> <td>98回</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>2,203人</td> <td>3,069人</td> <td>1,354人</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成21年度及び平成22年度は、本事業において「介護予防フォローアップ教室」、「栄養改善及び口腔機能向上教室」及び「地域介護予防教室」を実施したが、平成23年度は、震災の影響により「介護予防フォローアップ教室」及び「栄養改善及び口腔機能向上教室」の業務を受託できる事業者がなかったことにより、「地域介護予防教室」のみ実施した。</p>								主な指標項目	H21	H22	H23	開催回数	161回	228回	98回	参加延べ人数	2,203人	3,069人	1,354人
主な指標項目	H21	H22	H23																	
開催回数	161回	228回	98回																	
参加延べ人数	2,203人	3,069人	1,354人																	
成果に係る評価	平成23年度の実績を踏まえ、平成24年度から「地域介護予防教室実施業務」を拡充した。今後においても、事業の推移を見ながら実施体制の検討が必要である。																			
(単位：円)																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																	
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入														
	4,697,000	2,663,843	1,687,068		976,775															

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																					
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																					
	4 目	任意事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()																					
小 事 業	介護用品支給事業費																											
事 業 名	介護用品支給事業																											
目的及び事業内容	<p>市内に住所を有し、市民税非課税世帯で介護保険の認定を受け、介護用品が必要な65歳以上の高齢者を介護している家族に対し、介護用品を購入できる介護用品支給券を支給することにより、本人及び家族の精神的、経済的負担の軽減を図る。</p> <p>支給額：要支援から要介護3 高齢者一人当たり月額2,000円 要介護4・5 高齢者一人当たり月額5,000円</p>																											
取 組 実 績	<p>1 介護用品支給券の支給</p> <p>(1) 平成22年度該当者に対して、平成23年度分の申請勧奨を実施した。</p> <p>(2) 申請者に対して、該当・非該当の決定をし、該当者については、介護用品支給券を交付した。</p> <p>2 支給対象用品</p> <p>(1) 要介護4・5 紙おむつ、尿取りパット、使い捨て手袋、清拭剤及びドライシャンプー</p> <p>(2) 要支援から要介護3 紙おむつ、尿取りパット</p>																											
成 果	<p>介護用品支給券の交付により在宅での介護家族の精神的、経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>支給券該当者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,000円券</td> <td>232人</td> <td>202人</td> <td>145人</td> </tr> <tr> <td>5,000円券</td> <td>149人</td> <td>182人</td> <td>140人</td> </tr> </tbody> </table> <p>支給券支払実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支払い実績</td> <td>8,642,991円</td> <td>8,921,848円</td> <td>6,582,973円</td> </tr> </tbody> </table>								区分	H21	H22	H23	2,000円券	232人	202人	145人	5,000円券	149人	182人	140人	区分	H21	H22	H23	支払い実績	8,642,991円	8,921,848円	6,582,973円
区分	H21	H22	H23																									
2,000円券	232人	202人	145人																									
5,000円券	149人	182人	140人																									
区分	H21	H22	H23																									
支払い実績	8,642,991円	8,921,848円	6,582,973円																									
成果に係る評価	居宅で介護を行う家族の経済的負担を軽減するため、実態の把握と有効な事業推進手法を検討していく。																											
予算の執行状況	(単位：円)																											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																						
7,559,000	6,655,749	4,288,506		1,330,965	1,036,278																							

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()					
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()					
	4 目	任意事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()					
小 事 業	高齢者世話付住宅事業費											
事 業 名	高齢者世話付住宅事業											
目的及び事業内容	流留地区県営住宅に設置されている高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に生活援助員を派遣し、居住している高齢者に対し、生活指導や相談対応、安否確認、一時的な家事援助及び緊急時の対応等のサービスを実施する。											
取 組 実 績	<p>1 シルバーハウジング入居者に対し、生活指導や相談対応、安否確認、一時的な家事援助及び緊急時の対応等を行った。</p> <p>2 委託業者による休日、早朝及び夜間の緊急通報対応業務を行った。</p>											
成 果	<p>生活援助を行ったことにより、入居者が日々の生活を安心して送ることができた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">入居戸数及び入居実人員</td> <td>10戸中 7戸 (7人) 入居 (H24. 3. 31現在)</td> </tr> <tr> <td>生活援助員派遣人員</td> <td>2人 (常駐1人)</td> </tr> </table>								入居戸数及び入居実人員	10戸中 7戸 (7人) 入居 (H24. 3. 31現在)	生活援助員派遣人員	2人 (常駐1人)
入居戸数及び入居実人員	10戸中 7戸 (7人) 入居 (H24. 3. 31現在)											
生活援助員派遣人員	2人 (常駐1人)											
成果に係る評価	サービス付き高齢者向け住宅等の類似施設が整備されてきたことから、民間事業の進展を見極めつつ、今後のシルバーハウジングの在り方について関係機関との協議を進める。											
予算の執行状況	(単位：円)											
	予算額	決算額	決算額の財源内訳									
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入						
2,001,000	1,987,178	1,280,400		516,475	190,303							

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()													
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()													
	4 目	任意事業費		(3)	介護保険制度・介護予防を充実する		()													
小 事 業		住宅改修支援事業費																		
事 業 名		住宅改修支援事業																		
目的及び事業内容		住宅改修により生活環境を整備することで、利用者が安全で安心な生活を送ることができる。居宅介護支援及び介護予防支援の提供を受けていない利用者に対してこのようなサービスを提供できるとともに、住宅改修支援業務を行った介護支援専門員等に所要な支援を行うことを目的としている。 住宅改修の補助金交付申請に必要な関係書類（住宅改修が必要な理由書等）を作成した介護支援専門員等に対価として補助金を交付するものである。																		
取 組 実 績		要介護被保険者からの依頼を受け、介護支援専門員等が住宅改修に必要な理由書等を作成する支援業務について、その業務に対する対価を補助金として交付した。 補助金額は、業務1件当たり2,000円とした。平成23年度の実績は17件で、補助金額は34,000円となった。																		
成 果		住宅改修を実施することで、利用者の生活環境の充実と介護保健サービスの利用促進が図られ、介護支援専門員等を通じて各事業者に対して所要な支援を行うことで介護支援事業の充実が図られた。 住宅改修支援事業費補助金交付一覧 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>件 数</th> <th>補 助 金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>22件</td> <td>44,000円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>35件</td> <td>70,000円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>17件</td> <td>34,000円</td> </tr> </tbody> </table>							年 度	件 数	補 助 金 額	H21	22件	44,000円	H22	35件	70,000円	H23	17件	34,000円
年 度	件 数	補 助 金 額																		
H21	22件	44,000円																		
H22	35件	70,000円																		
H23	17件	34,000円																		
成果に係る評価		第4期介護保険事業計画に基づき、介護支援の充実を図りながら、介護保険住宅改修支援事業を継続的に実施することで、要介護被保険者が居宅において快適で効率的な生活ができることを支援することができた。住宅支援業務を行った介護支援専門員等が属する事業所に対して補助金を交付することにより、居宅介護支援事業者による適正な事業運営とサービスの質の向上が期待される。今後も成果を精査しながら事業を継続する。																		
(単位：円)																				
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																
				国(県)支出金	地方債	その他	事業収入													
		60,000	34,000	21,908		6,800	5,292													

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()																																				
	2 項	包括的支援事業・任意事業費		第 4 節	安心と誇りを持って住み続けられる高齢者福祉を充実する		()																																				
	4 目	任意事業費		(4)	認知症高齢者と家族を支援する		()																																				
小 事 業	成年後見制度利用支援事業費																																										
事 業 名	成年後見制度利用支援事業																																										
目的及び事業内容	老人福祉法に基づき、65歳以上の者につきその福祉を図るため特に必要があると認めるときは、市長が家庭裁判所に対し、成年後見の開始に係る審判の請求を行う。																																										
取 組 実 績	<p>判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等の福祉の増進を図るため、家庭裁判所に対して成年後見の開始に係る審判の請求等を行った。</p> <p>1 対象者</p> <p>(1) 事理を弁識する能力の程度が低い者</p> <p>(2) 生活状況及び健康状況が不十分である者</p> <p>(3) 配偶者及び四親等内の親族による保護の可能性が低い者</p> <p>(4) 行政等が行う各種施策及びサービスの利用並びに日常生活上の支援が必要な者</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 審判の請求に要した費用について、必要に応じて市が負担した。</p> <p>(2) 成年後見人等への報酬に関し、必要に応じて助成金を交付した。</p> <p>申立状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="3">成年後見市長申立て</th> <th colspan="2">後見人報酬の助成</th> </tr> <tr> <th>申立件数</th> <th>事業費</th> <th>内訳</th> <th>助成件数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>4件</td> <td>126,290円</td> <td>養護老人ホーム3件、特別養護老人ホーム1件</td> <td>1件</td> <td>110,000円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>3件</td> <td>36,070円</td> <td>グループホーム1件、在宅生活者2件</td> <td>0件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>1件</td> <td>23,650円</td> <td>在宅生活者1件</td> <td>0件</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>1件</td> <td>7,950円</td> <td>在宅生活者1件</td> <td>3件</td> <td>754,000円</td> </tr> </tbody> </table>								年度	成年後見市長申立て			後見人報酬の助成		申立件数	事業費	内訳	助成件数	事業費	H20	4件	126,290円	養護老人ホーム3件、特別養護老人ホーム1件	1件	110,000円	H21	3件	36,070円	グループホーム1件、在宅生活者2件	0件	-	H22	1件	23,650円	在宅生活者1件	0件	-	H23	1件	7,950円	在宅生活者1件	3件	754,000円
年度	成年後見市長申立て			後見人報酬の助成																																							
	申立件数	事業費	内訳	助成件数	事業費																																						
H20	4件	126,290円	養護老人ホーム3件、特別養護老人ホーム1件	1件	110,000円																																						
H21	3件	36,070円	グループホーム1件、在宅生活者2件	0件	-																																						
H22	1件	23,650円	在宅生活者1件	0件	-																																						
H23	1件	7,950円	在宅生活者1件	3件	754,000円																																						
成 果	身近に協力者のいない判断能力が不十分な高齢者の福祉の増進が図られた。																																										
成果に係る評価	成年後見制度の市長申立ては、認知症等の影響により判断能力を無くした高齢者に対し、支援する親族がいない場合に行うものであり、成果を追求するものではない。また、今後は高齢単身者及び高齢夫婦世帯の増加に併せ親族間の希薄化も一層進むことが考えられることから、事業の拡充を検討していかなければならない。																																										
予算の執行状況	(単位：円)																																										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																					
842,000	761,950	490,948		152,390	118,612																																						